

## 令和8年度（一財）山形コンベンションビューロー事業計画

### □ 事業方針

コンベンション誘致支援事業については、継続し出展しているコンベンション商談会に加え、新たに学会等の大規模コンベンションの開催に併せて実施される展示会へ出展し、キーパーソンの新規開拓に努めます。

また、第5回目となるコンベンション主催者向け「山形コンベンションフェア」を開催し、地元関連事業者とも協力しながらコンベンションの振興を図ってまいります。

令和8年度は、「第42回日本診療放射線技師学術大会・第33回東アジア学術交流大会（参加者数約1,800人）」や「第88回全国都市問題会議（参加者数約1,800人）」、「第61回全国学童保育研究集会 in 山形（参加者数約2,800人）」など、47件のコンベンションが予定されております。主催者や参加者の皆様に山形開催を満足していただけるよう支援を行ってまいります。

山形国際交流プラザの管理運営事業については、引き続き大規模改修工事が計画的に行われますが、期間中、プラザの指定管理者として利用者の安全・安心を一番に心がけ、さらに主催者との情報交換や利用者アンケートなどを通して意見等を伺いながらサービス向上に努めるとともに、セールス活動を積極的に展開し利用促進を図ってまいります。また、毎年多くのご来場をいただいている自主事業「山形ビッグウイングフェスティバル」を今年度も村山地域の行政と事業者の皆様の協力を得て継続開催いたします。

今後も、コンベンション誘致支援事業とプラザ管理運営事業を両輪として、地域の活性化に努めてまいります。

## □ 項目別事業計画

### 1. コンベンションの誘致及び開催支援事業

コンベンション主催団体への訪問やダイレクトメール送付等による誘致活動に加え、新たに首都圏等で開催する2つの大規模コンベンションに併設される展示会へ出展し、コンベンションの山形開催誘致に向け、キーパーソンの新規開拓に努める。

また、コンベンション主催者向け「山形コンベンションフェア」を継続実施し、関連事業者や山形ならではの開催ツールを紹介するなど、訪れる多くの参加者に魅力ある山形大会となるよう必要な支援を行う。

#### (1) 誘致事業

##### ① 大規模コンベンションへの出展

大規模学会（応用物理学会 2027 年春季学術講演会（参加者：約 6,000 人）、電子情報通信学会 2026 年ソサイエティ大会（参加者：約 2,000 人））時に開催される展示会へ出展し、山形の開催環境の紹介及びキーパーソンの新規開拓に努める。

##### ② 国際MICEエキスポ（IME）、東北地区MICE誘致商談会への参加

（一社）日本コンgres・コンベンション・ビューロー（JCCB）並びに日本政府観光局（JNTO）主催の「国際MICEエキスポ」や東北地区コンベンション推進協議会主催の「東北地区MICE誘致商談会」に参加し、新たな誘致先の発掘に努める。

##### ③ キーパーソン招請事業

キーパーソンとなる主催者に現地会場等を視察していただき、より具体的に開催をイメージしていただくことで村山広域圏へのコンベンション誘致につなげる。

##### ④ 山形コンベンションフェアの実施

コンベンション主催者と、開催時に必要となる様々な関連事業者をマッチングするフェアを開催する。また、フェアに合わせて、山形開催を検討している首都圏及び仙台の主催者を招請し、山形でのコンベンション開催環境を紹介し、誘致につなげる。

##### ⑤ コンベンションオンライン説明会の実施

オンラインで気軽に参加できるコンベンション主催者向け支援説明会を実施

する。

⑥ 地元大学・各種団体、首都圏等の主催団体・キーパーソンへの誘致活動

訪問活動やダイレクトメールにより、村山広域圏におけるコンベンション開催環境や支援制度を紹介し、積極的に村山広域圏での開催を働きかける。

(2) 開催支援事業

① アトラクション費用の助成（15件：1,500,000円）

国際・全国大会・大規模ブロック大会（大規模ブロック大会は、開催日2日以上かつ参加者500人以上のコンベンション、以下同じ。）の主催者に対し、懇親会等で山形らしいアトラクションを披露するための費用として、1大会当たり100,000円を上限に助成し、参加者に山形での開催を印象深いものにしてもらう。

② コンベンション開催用貸切バスの支援（13件：2,000,000円）

国際・全国・大規模ブロック大会の主催者に対し、二次交通の補助とエクスカーションの実施を促すことを目的に交付する。

[支援対象と交付額]

参加者数（実績）	交付上限額	※コンベンション開催地以外の村山広域圏内の市や町に、視察またはエクスカーションを実施した場合は、左表に100,000円を上限に加算する。
5,001人以上	400,000円	
3,001人以上、5,000人以下	300,000円	
1,001人以上、3,000人以下	200,000円	
100人以上（但し国際規模は50人以上）、1,000人以下	100,000円	

③ コンベンション開催助成金の交付（15件：29,280,000円）

山形県及び山形市、上山市、天童市の補助金制度を利用して、宿泊を伴う参加者数に応じ開催助成金を交付する。

④ 山形空港または山形駅等の開催地最寄り駅への歓迎看板の掲示

国際・全国・大規模ブロック大会の主催者に対し、コンベンション開催時に歓迎看板を設置する。令和8年度は20件を予定。

⑤ 「コンGRESバッグ」「布エコバッグ」「ネームホルダー」等の提供

主催者を様々な形で支援するため、各種支援グッズ、観光写真等のデジタルデータなどを提供する。

## 2. コンベンションに関する調査及び広報事業

リニューアルしたホームページを活用し、ビューローの活動内容やコンベンション開催予定の周知を行う。また、コンベンション開催による経済波及効果を調査するとともに、その結果を踏まえ、コンベンション開催の重要性を周知していく。

### (1) 調査事業

#### ① 経済波及効果調査

山形県産業連関表の更新に伴う経済波及効果測定プログラムの更新作業を行い、令和7年度に実施したアンケート結果を基に、経済波及効果の集計を行う。

#### ② コンベンション開催情報の収集と開催意向の調査

村山広域圏内で開催されるコンベンションの開催情報を収集する。また主催者から今後の開催意向を調査し、誘致・支援活動に生かす。

#### ③ 各種会議への参加

JCCBや加盟団体が主催する各種会議へ参加し、コンベンション動向等の情報交換を行う。

### (2) 広報事業

#### ① 山形駅周辺ランチマップの作成

ウマイバヤマガタWeb版の情報を活用し、コンベンション主催者からの要望が多い、山形駅周辺のランチマップを新たに作成する。

#### ② 7市7町特産品提供

コンベンションの参加者を対象とした経済波及効果調査のためのアンケートを実施し、回答者には村山広域圏7市7町の特産品を抽選でプレゼントする。

#### ③ 地元大学ホームページへのバナー広告掲載

コンベンションの開催に多くかかわる山形大学ホームページへバナー広告を掲載し、ビューローの業務周知を図る。

#### ④ コンベンション開催予定（コンベンションカレンダー）の周知

ホームページ内コンベンションカレンダーを随時更新するほか、カレンダーのメール登録賛助会員への送付及び山形駅東西自由通路ショーケースへの掲示等により、コンベンション開催予定を広く周知する。

#### ⑤ 機関紙「ルネッサンス」の制作

年2回発行している機関紙を制作して、関係自治体や賛助会員をはじめ広く

ビューローの活動を広報する。

⑥ ホームページやSNSによる情報発信

ホームページ、Facebookを活用した情報発信をする。

⑦ 山形国際交流プラザ内観光物産展示コーナーでの特産品展示

山形国際交流プラザ内の展示コーナーで観光パンフレット・特産品を展示する。

### 3. 山形国際交流プラザの管理運営事業

これまで構築してきた管理運営のノウハウや、利用者からの要望等を施設管理運営に反映させ、ハード、ソフトの両面から積極的にサービスの向上を図り、利用促進に努める。

#### (1) 安全安心の確保

① 危機対応マニュアルの改訂と整備等

火災、地震をはじめ、停電・不審者対応等さまざまな状況に備えた危機対応マニュアルを実態に合わせて改正等の必要な検討を行う。

② AED（自動体外式除細動器）の継続設置

AEDを継続設置し、適切な使用と対応が取れるよう職員への意識付けを図る。

#### (2) 適切な維持管理及び利用者への満足感の提供

① 大規模改修及び日常修繕の情報共有

建設より31年が経過し建物や設備面において突発的な故障が発生している。

令和6年度から山形市による大規模な修繕が計画的に行われているため、常に現状を報告し情報を共有していく。

② 利用者情報交換会の開催

施設利用者から要望や意見をいただき、今後の管理運営に生かすとともにプラザ利用の拡大を図る。

③ モニタリングの実施

施設を利用された主催者等を対象にアンケート調査を実施し、意見・要望を管理運営に反映させていく

④ 全国展示場連絡協議会等への参加

全国55施設で構成されている全国展示場連絡協議会の会議に参加し、研修会の受講や他施設との情報交換等を行う。

### (3) 自主事業の実施

#### ① 山形ビッグウイングフェスティバルの開催

期 日：令和8年12月5日（土）・6日（日）

#### ② 山形国際交流プラザ館長杯グラウンド・ゴルフ大会の開催

国際交流広場の利用拡大及び市民の健康増進を図る。

#### ③ 地場産業紹介コーナーの設置

地元産業の振興を図り、広く市民にPRする。

#### ④ 子どもの映画教室の開催

山形ドキュメンタリーフィルムライブラリーの活性化並びにPRを目的に実施する。

### (4) 利用促進に向けたセールス活動等の実施

定期利用者の顧客化及び新規利用者の拡大に努める。

主に県外利用者や過去の利用者を対象に、訪問による利用促進並びにダイレクトメールの送付等を行う。

## 4. 総務

定款に基づき事務の適正化と経営の安定に努め、財団の円滑な運営を行う。

### (1) 事務の適正化及び経営の安定化

財務及び会計の状況を正確に把握し、適正かつ能率的な運営を図る。また、賛助会費の増収に向け、加入促進用チラシを活用し、会員の新規獲得に努める。

### (2) 自衛消防総合訓練の実施（年2回）

消防法で定められた自衛消防総合訓練を、財団役職員と常駐委託業者が一体となって実施し、不特定多数の利用者が訪れる施設として安全安心の確保にしっかりと取り組む。